



2023年10月13日

各 位

会 社 名 株式会社リテールパートナーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 田中 康男
(コード 8167 東証プライム市場)
問 合 せ 先 専務取締役 清水 実
(電 話 番 号 0835-20-2477)

2024年2月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2023年4月13日に公表しました2024年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の同期実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年2月期の第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異 (2023年3月1日～2023年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	120,000	2,500	2,900	1,800	41.20
実績値 (B)	124,825	3,377	3,860	2,518	58.64
増減額 (B - A)	4,825	877	960	718	
増減率 (%)	4.0%	35.1%	33.1%	39.9%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期)	117,271	2,240	2,694	1,707	38.95

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行し、行動制限や感染症対策が大幅に緩和されたことによって人流が回復したことに加えて、既存店の改装効果や2023年3月に株式会社ハットリーの株式を取得したことに伴い、営業収益は前回発表予想比4,825百万円増の124,825百万円となりました。なお、株式会社ハットリーは、第1四半期連結会計期間より、同社及び同社の連結子会社である有限会社シード宮崎を連結の範囲に含めております。また、損益計算書は6月1日より連結の範囲に含めております。

利益面においては、惣菜を含む生鮮部門の強化により売上総利益率を改善したこと、販売費及び一般管理費において電力使用量の削減や国の政策も含め電力料の上昇が抑えられたことや資材等の経費削減対策を講じてまいりました。その結果、営業利益は前回発表予

想比 877 百万円増の 3,377 百万円、経常利益は同比 960 百万円増の 3,860 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同比 718 百万円増の 2,518 百万円となりました。

なお、同様の傾向は引き続き持続するものと思われませんが、物価高騰による消費動向の不安定さなども踏まえて、現時点で通期の業績予想を据え置くことといたしました。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以 上